

令和3年度 加賀原地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

新型コロナウイルスにより、長期間にわたり自粛や制限された生活・地域活動が続いたことで、特に高齢世帯においては老人会・サロン・サークル・団体活動の休止により、様々な面において悪影響を及ぼしています。ケアプラザとして地域の現状を理解し、withコロナを前提に各職種の専門性を最大限発揮し、活気ある地域の復興と、自粛や縮小した団体の活動支援を行い、希望ある地域作りに努めます。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区のサロン・老人会へ出向き認知症・ロコモ予防の体操教室、口腔・栄養の講座を開催する。コロナ禍でもより多くの方に参加してもらえる工夫として、ICTを活用し、リモート講座の開催にも挑戦する。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園での365歩のマーチ体操を今年度も継続して実施。今年度は、子ども世代も巻き込み、多世代交流となる機会を目指すとともに、高齢者の身近な場での介護予防・社会参加のきっかけ作りとする。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・親の資産管理をしている子世代の住民に対して、親の意向を代弁できる権利擁護制度としての法定後見・任意後見制度を普及啓蒙する講座や専門職による無料の巡回相談会を開催。今年の巡回相談会は司法書士で行う。 ・子世代だけでなく、親世代が、自らの意志により今後の資産管理等を考えられるように、老人会やサロン等で成年後見制度の普及啓蒙の出張講座を行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・自立支援協議会を通し、当事者、当事者ご家族、各種事業所へケアプラザの機能や事業の周知を行う。 ・児童発達支援事業所、放課後デイサービスとのつながりを作る。 ・パラスポーツの事業を開催し、参加者、ボランティア、地域との交流の機会を作る。 ・地域の見守り活動の中で障害啓蒙の事業を包括と協働して行う。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で認知症についての理解を深めていくための講座の開催（認知症サポート養成講座・認知症への理解講座） ・講座の開催に向けては、既存の団体活動や、会議の場を活用することで、来館が困難な方でも参加しやすい講座開催を行う。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント